

防災教育（家庭教育学級）

H30.1.16

避難訓練の実施後、東日本大震災を経験され、今年度栃木県に来られている福島県の先生を講師にお迎えし、「防災教育」を実施しました。今年の3月で東日本大震災から7年が経とうとしている今、子ども達にとっては、大地震の経験をうっすらとしか覚えておらず、低学年などは、全く記憶にありません。

地震があったら、始めに何をすべきか、日常生活ではどんなことに気をつけていたらよいのかについて、お話を聞くことができました。



普段からできることとして

- 部屋の整理整頓をしておこう！
→ 棚から落下物を減らすことができる。
→ 逃げる際に危険を回避できる。
- あいさつをしよう！
→ 近所の方と協力して避難ができる。
- 体力をつけよう！
→ 避難する時は体力が必要。
- 正しい知識を身につけよう！
→ 風評被害を防ぐ。



災害が起きると、離れた家族や知り合いと連絡がとれなくなることがあります。そのときは「災害伝言ダイヤル」を活用する方法があります。年に何回か実際に試すことができる機会があります。今月は1月21日（日）までです。詳細は災害伝言ダイヤルで検索してみてください。